

【香川県高松市】

背景・課題

- ・高齢者の約7割が、移動手段を自動車に依存。
(香川県免許返納数：38人【H16】→1,256人【H25】)
- ・都心地域では、バス路線と鉄道路線が重複する区間が存在するなど、交通サービスの提供が非効率。

鉄道、バス、自動車・自転車など、それぞれの役割分担に基づいて総合的に交通体系を見直し

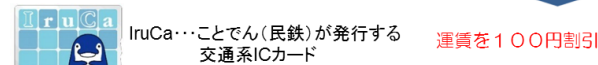
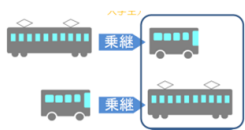
- ・市民・事業者・交通事業者・市のそれぞれの責務を規定した「公共交通利用促進条例」の理念に則り、各種施策を推進。交通結節点の整備、鉄道複線化、バス路線の再編、サイクル&ライド、パーク&ライドの促進など、総合的に交通体系を再構築。
- ・また、中心市街地エリアの回遊性を高めるため、関係者（商店街組合、ことでんバス、市）の連携によりまちなかループバスが誕生。

これまでの取組

ソフト施策等の実施による公共交通の利用拡大を図るために、「ことでん(民鉄)」と「市」との協働による施策を推進(連携強化)

乗継割引の拡大

- IruCa利用時のバス-電車の乗継割引を20円から100円に拡大
- 乗継件数：H25 25.3万件 → H27 33.0万件



高齢者への公共交通利用支援

- 70歳以上の高松市民を対象としたゴールドIruCaについて、利用時の電車、路線バス等の運賃を半額に

まちなかループバスの再編
(「丸亀町+ことでん+高松市」の連携により実現)

- 中心市街地エリアの回遊性を向上し、中心市街地の利便性・魅力を高めるため、既存路線の統合等の見直し
- ◆ 商店街では買い物客に「まちなかループバス無料乗車券」配布
- ◆ 丸亀町商店街振興組合と、ことでんバスがまちなかループバスを共同運行

- ・市民満足度 30.0%【H25】 → 35.0%【H27】
- ・公共交通利用率 13.7%【H25】 → 14.2%【H27】

これからの取組：鉄道を基軸としたバス路線の再編

★交通結節点の整備

新駅設置(ことでん)と駅前広場整備(市)
→公共交通軸の強化と生活交流拠点の活性化

★基幹交通軸の強化

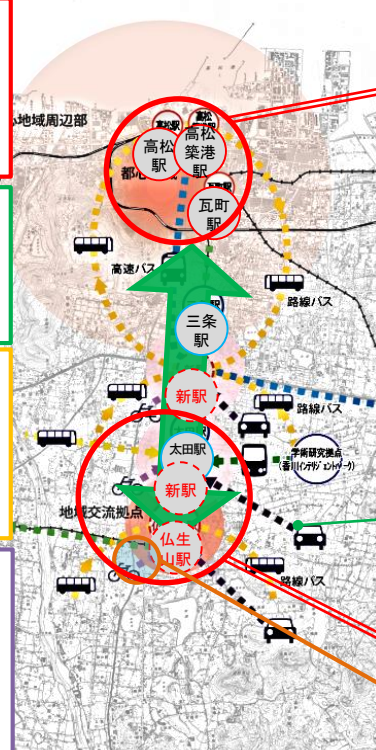
鉄道の複線化による運行頻度の向上(ことでん)
→拠点間の運行サービス強化

★バスネットワークの再編

基幹交通軸への結節を基本としたフィーダー路線へ見直しを行うことで交通空白地域を解消(ことでんバス)
→各拠点へのアクセス向上

★サイクル&ライド
パーク&ライドの促進

主要駅・停留所周辺に駐輪場・駐車場を整備(市)
→公共交通優先で歩いて暮らせるまちづくりの実現



中心市街地の活性化と公共交通の連携

丸亀町商店街再開発事業



商店街全体をひとつのショッピングセンターと見立て全体をレイアウト
→業種の偏りを正し、適切にマネジメント

新交通システム(LRT等)の検討

新たに拠点整備や市街化が進むエリア

新病院を核としたまちづくり推進事業

利用者による継続的な利便性評価やサポートの仕組みづくりを継続して実施